

科目名	メディア心理学Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	ポジティブメディア心理学	講義	
担当者	栗田 聡子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

①社会のwell-being(幸福や福祉)の概念を理解し、メディア心理学の新たな分野である「ポジティブメディア心理学」が台頭してきた理由と重要性を理解できる。②メディア業界のプロフェッショナルが培ってきた課題解決のための発想の仕方を理解することができる。③多様な興味を持つメンバーで構成されたグループと意見を出しながら、積極的に発表準備に取り組むことができる。④他者に対してわかりやすく説得力のある方法で伝えることができる。

[授業概要]

メディア心理学Ⅱでは、「メディアを利用してどのように社会や個人のwell-beingに貢献できるのか」について思考する力を養います。授業は①講義 ②メディア業界のプロフェッショナルによる特別講義 ③グループ発表で構成。(マスコミ業界で従事した経験のある教員が担当し、現在メディア業界で活躍するプロフェッショナルを招いてメディアの社会的役割と影響について講義します。2回までは、Iでカバーできなかった内容を実施予定)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- 授業前に参考資料を読んでおいてください。
- 現実に起こっている国内外のメディア関連情報の意味を心理学の観点から考えながら、前回の授業内容の理解を深め、次回の授業のテーマでの質問事項を考えておいてください。予習・復習合わせて3時間程度。

[授業計画]

1. イントロダクション
 2. 仮想現実の心理
 3. マスメディアとSNS
 4. 学外特別講師①テレビ局アナウンサー(予定)
 5. ポジティブメディア心理学①ポジティブ心理学
 6. ポジティブメディア心理学②ニュース
 7. ポジティブメディア心理学③エンターテインメント
 8. ポジティブメディア心理学④ファン心理
 9. 映画視聴
 10. 学外特別講師②市役所観光課
 11. グループ発表準備
 12. グループ発表
 13. まとめ(全体の総括)
- *スケジュールは変更になる可能性があります。

科目名	メディア心理学Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	ポジティブメディア心理学	講義	
担当者	栗田 聡子		
<p>[成績評価方法] 期末試験(50%)と課題(20%) グループ発表と授業態度(30%)を総合的に評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:心理2-2/修得した心理学の知識や技能を、社会生活の場においていかにすれば有効に活用できるか判断する力を身につけている。 成績評価方法:総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:心理3-3/修得した心理学に関する知識と技能を、他者と協働して社会において活かそうとする姿勢を身につけている。 成績評価方法:総合的に評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:総合的に評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>[参考書(ISBN)] 書籍名:ポジティブメディア心理学入門—メディアで「幸せ」になるための科学的アプローチ(略称PMP) 著者名:アーサー・A・レイニー 出版社名:新曜社 ISBN:9784788518056</p>			